

## 入庁後の振り返りと今後について

北九州県土整備事務所 田原 幸汰

入庁してから約1年が経ちました。入庁したての頃は、学生時代から大きく変化した生活に戸惑い慣れないことが多々ありましたが、今では社会人生活にもずいぶん慣れてきました。

この1年間で学んだことや感じたことについて振り返りたいと思います。

私は、大学時代から土木について学んできました。大学で土木を選んだ理由は、父親が土木の仕事に携わっており、それに憧れを抱いたからです。そして夢が叶い、福岡県庁に入庁でき、県土整備事務所に勤務する事となりました。

実際に入庁してみると、今年はコロナウィルスの影響で異例の事態ばかりで正直やっていけるか心配でした。さらには、研修や歓送迎会がなく、職場になじめるかも心配でしたが、優しい上司や同期の人達に助けられこのような状況下の中でもなんとか頑張ることができました。

そこで、今までの業務や上司の方々から学んだことについて振り返ります。まず、1番に大切だと思ったことは、「ほうれんそう」を早急かつ確実に行うことです。

以前、事業の進捗が思わしくない時に「問題が解決したら上司に報告しよう」と考えたことがあります。しかし、問題を解決するまでに多くの時間が掛かってしまい、結果として適切に報告をすることができず、早く上司に報告し相談すれば良かったと後悔したことがありました。

これは私が、作業が進展したという報告が良い報告だと勘違いしていたことが原因です。分からないことや自分では判断できないことは、すぐに上司に相談することの大切さについて痛感しました。分からないことをそのままにせず、些細なことでも報告、連絡、相談をすることにより自分一人で背負い込まないことが問題等の早期解決につながることを学びました。

しかし、気軽に相談するのは新採にとっては難しいことだと思います。これは相談すべき内容なのか？相談相手は忙しくないか？今相談して迷惑にならないか？といった迷いや葛藤が生じます。実際に、私は1年経った今でもかなり悩みます。相談する前に自分で解決方法を調べ、どうしてもわからなかった場合に相談するようにしています。相談したら即座に解決するのでは？と思いながらも、自分で調べることを身につけるために何でもすぐに調べるようにしています。中には、調べ方が甘く、もう少し調べたら解決していたのにという場面もありました。相談した相手に申し訳ないと思ったこともありましたし、次

の相談がしにくくなりましたが、相談しないで後悔するより、相談して後悔したほうが良いと思うようになり気が楽になりました。それからは、少しのことでもすぐに報告、連絡、相談をするようになりました。以上のことは、これから自分が様々な仕事を行っていく上で役立つと考えています。

新採の時は、分からないことだらけだから相談しやすいと思いますが、今後、2年目、3年目になると自分に後輩ができる立場になり、知らないのが恥ずかしいと思い相談しにくくなると思います。しかし、こういう時こそ初心を思い出し、自分で調べてもどうしても分からないことは、早めに相談しようと思います。

また、今は教わったことを実践することで手一杯ですが、2年目からは教わるだけではなく、もっと自分なりに考えることもしていきたいと思います。教わったことから、考えられる問題や気になる点を調べ、常に「なぜ?」「どうして?」と考えながら、さらに疑問に思う所を教わって自分のものにしたいです。

私が、今不安に感じていることは知識の少なさです。来年入ってくる後輩に「あの先輩に相談しよう」と思われるような先輩になることができるのか不安で仕方ありません。頼れる先輩になるためにも、常に学ぶことと勉強を欠かさずに過ごしたいと思います。

とりあえず今は、仕事に慣れ、何でも任せられるようになることを一番の目標として日々精進していくつもりです。